

# 校庭開放の委託謝礼

## 先払いで返却せず

中央区立小

週末などに主に小学校の校庭を子どもの遊び場として開放する「校庭開放」。

その謝礼をめぐる「先払い」の悪用がわかった。東京都中央区立のある小学校では、PTAが区教委から受け取った指導員への謝礼40万円を不正に使っていたという。他の学校には後払いも少なくないが、先払い方式はより性善説に立っているといえる。

99年度から4年間、中止分の計40万円を返していなかったという。PTAの一部の人が過去の会計を調べたところ、40万円は、学校で開いた講演会の講師への謝礼などに使われたとされる。98年度以前の書類が残っており、いつ始まったのかは不明のままという。

謝礼の管理は、2人の元副校長が担当していた。区教委に対し、「PTAから頼まれた。依頼

### 情報公開の認識 教育現場に不足

堀部政男・中央大法科大学院教授の話

公費の使い方に多くの国民が関心を持つ時代なのに、教育現場では情報公開制度がよく知られていない。請求されれば使い方が公開されるという認識がないため、今もこうした慣行が続いている。今回の件では、先払いをやめて実績に基づく支払いにする

内容が覚えていない」と話したという。

すでに40万円は返還されたためPTAの告発は見送られた。一方で、05年度から先払いをやめ、

るだけで、かなりの部分が適正化されるだろう。

実際に開放した分だけを後から払う仕組みに変えた。支払い方法も、入金金の記録が残るように口座振り込みにした。区教委の小池正男事務局長

は「以前の仕組みは、性善説に基づいていた。甘かった」と話す。都教委は関与した元副校長2人の処分を検討している。

謝礼の支払い方法を23区の区教委に聞くと、先払い方式が品川や練馬など9区で続いていた。いずれも、開放した実績と照合していると説明している。ほかの区は後払い方式。江戸川や板橋、中野の各区は、人材派遣業者などを通じて人を配置する。この仕組みなど、不正もやりづらいという。